



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

上場会社名 株式会社ダイフク 上場取引所 東
 コード番号 6383 URL <https://www.daifuku.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下代 博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経本部長 (氏名) 日比 徹也 (TEL) 06-6472-1261
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	277,782	14.1	24,466	20.4	24,883	21.1	17,013	22.2
2022年3月期第2四半期	243,422	5.8	20,327	3.3	20,540	1.0	13,919	△5.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 34,417百万円(67.6%) 2022年3月期第2四半期 20,532百万円(50.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	135.01	—
2022年3月期第2四半期	110.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	520,160	318,221	61.1
2022年3月期	483,322	292,059	60.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 317,925百万円 2022年3月期 290,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	55.00	90.00
2023年3月期	—	40.00			
2023年3月期(予想)			—	65.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	580,000	13.2	57,000	13.4	57,700	12.6	40,000	11.5	317.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	126,610,077株	2022年3月期	126,610,077株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	593,502株	2022年3月期	592,870株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	126,016,927株	2022年3月期2Q	126,015,586株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託 (BBT) が保有する自己株式を含んでいます。株式給付信託 (BBT) が保有する自己株式数は、2023年3月期第2四半期末 106,500株、2022年3月期末 106,500株です。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)
決算補足説明資料は、TDnetで11月8日に開示し、同日、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～9月30日)における世界の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和される一方、原材料・エネルギー価格高騰の長期化、中国の都市封鎖に伴うサプライチェーンの混乱、欧米における金利上昇と景気後退懸念など、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済・事業環境において、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注は、半導体・液晶生産ライン向け、空港向けシステムが前年同期比で大きく伸長したほか、自動車生産ライン向け、一般製造業・流通業向けシステムは順調に推移しました。売上は、部材の調達に要する時間が長期化している影響等を受けたものの、豊富な前期末受注残高をベースに全体として順調に推移しました。

この結果、受注高は4,001億21百万円(前年同期比49.7%増)、売上高は2,777億82百万円(同14.1%増)となりました。

利益面では、原材料費・人件費等が高騰した影響を受けたものの、売上高の増加により営業利益は244億66百万円(同20.4%増)、経常利益は248億83百万円(同21.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は170億13百万円(同22.2%増)となりました。

なお、受注高、売上高、営業利益、経常利益は第2四半期連結累計期間としては過去最高です。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの平均為替レートは、米ドルで124.54円(前年同期108.47円)、中国円で19.14円(同16.77円)、韓国ウォンで0.1005円(同0.0968円)等となりました。為替の変動により、前年同期比で受注高は約344億円、売上高は約150億円、営業利益は約7億円、それぞれ増加しました。

〔セグメントごとの業績〕

セグメントごとの業績は次のとおりです。受注・売上は外部顧客への受注高・売上高を、セグメント利益は親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

報告セグメントに関する詳細は、後記(セグメント情報等)をご覧ください。

なお、当社グループのうち、株式会社ダイフク、株式会社コンテックをはじめとする国内の会社は3月末決算、海外子会社はそのほとんどが12月末決算であり、それぞれ2022年4月から9月末、2022年1月から6月末までの期間の状況を記載しています。

① 株式会社ダイフク

受注は、一般製造業・流通業向けシステムが好調だった前年同期の実績には及ばなかったものの、半導体・液晶生産ライン向けシステムが大きく伸長し、自動車生産ライン向けシステムは順調に推移しました。売上は、豊富な前期末受注残高をベースに半導体・液晶生産ライン向けは好調に、一般製造業・流通業向け、自動車生産ライン向けシステムは順調に推移しました。原材料費等が高騰した影響を受けましたが、増収に伴いセグメント利益も増加しました。

この結果、受注高は1,669億64百万円(前年同期比28.4%増)、売上高は1,195億23百万円(同11.6%増)、セグメント利益は123億39百万円(同15.8%増)となりました。

② コンテックグループ

日本市場では、部材調達難の影響はあるものの、製造業の設備投資が回復基調にあることや、半導体関連業界が好調を維持していることから、売上高は増加しました。また、米国市場でも、主力の医療機器業界や空港セキュリティ関連業界向けの販売が回復していることから、売上高が増加しました。

この結果、受注高は108億73百万円(前年同期比10.9%増)、売上高は82億60百万円(同14.9%増)となりました。

部材価格高騰の影響によりセグメント利益は3億67百万円(同44.8%減)となりました。

③ Daifuku North America Holding Company (DNAHC) グループ

受注は、半導体生産ライン向け、自動車生産ライン向け、空港向けシステムが大きく伸長しました。

売上は、前期末受注残高をベースに各システムとも順調に推移しました。

この結果、受注高は957億91百万円(前年同期比90.4%増)、売上高は730億77百万円(同10.3%増)、セグメント利益は39億64百万円(同58.5%増)となりました。

④ Clean Factomation, Inc. (CFI)

受注は、半導体メーカーの旺盛な投資が続いたことから前年同期の実績を大幅に上回りました。売上とセグメント利益は主に第1四半期に制御部品の入荷が遅れたことなどの影響を受けたものの、第2四半期以降は回復傾向にあります。

この結果、受注高は370億69百万円（前年同期比100.0%増）、売上高は170億83百万円（同0.6%減）、セグメント利益は12億54百万円（同24.8%減）となりました。

⑤ その他

「その他」は、当社グループを構成する連結子会社69社のうち、上記②③④以外の国内外の子会社です。これらの各社は、マテリアルハンドリングシステム・機器、洗車機の製造や販売等を行っています。主な子会社の状況は、次のとおりです。

国内子会社：

株式会社ダイフクプラスモアは、サービスステーション、カーディーラー向けの洗車機、トラック・バス用の大型洗車機、及び関連商品の販売等を行っています。第1四半期まで低迷していた販売台数は、顧客への政府補助金政策により第2四半期以降順調に伸びており、年間では前期を大きく上回る見込みです。

海外子会社：

中国、台湾、韓国、タイ、インドなどに生産拠点があり、一般製造業・流通業向けシステム、半導体・液晶生産ライン向けシステムや自動車生産ライン向けシステムなど、それぞれの事業におけるグローバルな最適地生産・調達体制の一翼を担いつつ、販売・工事・サービスもを行っています。

また、北中米、アジア、欧州、オセアニアに販売・工事・サービスを行う海外子会社を幅広く配置しています。

受注・売上ともに、アジア向け半導体・液晶生産ライン向けシステムが好調に推移したことなどにより大きく増加しました。セグメント利益は、一部の大型案件で追加コストを計上した前年同期から大きく改善しました。

この結果、受注高は894億21百万円（前年同期比52.6%増）、売上高は591億77百万円（同27.8%増）、セグメント利益は19億15百万円（同21億18百万円増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

資産は、前連結会計年度末に比べ368億37百万円増加し、5,201億60百万円となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産が350億96百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ106億75百万円増加し、2,019億38百万円となりました。これは主に契約負債が102億14百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ261億62百万円増加し、3,182億21百万円となりました。これは主に利益剰余金が100億76百万円、為替換算調整勘定が179億92百万円それぞれ増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ345億46百万円減少し、841億26百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、185億76百万円となりました（前年同四半期は274億59百万円の増加）。これは主に税金等調整前四半期純利益が229億19百万円あったものの、売上債権及び契約資産の増加額が214億73百万円、棚卸資産の増加額が151億12百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、57億18百万円となりました（前年同四半期は43億29百万円の減少）。これは主に、固定資産の取得による支出が61億32百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、190億54百万円となりました（前年同四半期は121億49百万円の減少）。これは主に、配当金の支払額が69億36百万円、長期借入金の返済による支出が93億円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年8月8日に発表した、2023年3月期通期連結累計期間の業績予想を以下のように変更しました。

まず、2023年3月期通期連結累計期間の受注高予想を従来の6,300億円から7,100億円に修正します。これは、アジア及び日本で半導体・液晶生産ライン向けシステムが好調なこと、及び円安に伴う為替影響を反映させたことが主な要因です。受注増加に伴い売上高、利益も増加する見通しとなりました。

2023年3月期通期連結業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	565,000	56,500	57,500	39,600	314.24円
今回発表予想 (B)	580,000	57,000	57,700	40,000	317.42円
増減額 (B - A)	15,000	500	200	400	—
増減率 (%)	2.7	0.9	0.3	1.0	—
(ご参考) 前期連結実績 (2022年3月期通期)	512,268	50,252	51,253	35,877	284.71円

(注) 上記予想は、当社が本業績予想の発表日において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は様々な要因で予想値と異なる結果となる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,769	84,229
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	208,915	244,012
商品及び製品	7,045	8,375
未成工事支出金等	11,430	18,426
原材料及び貯蔵品	22,778	32,354
その他	13,148	17,452
貸倒引当金	△777	△866
流動資産合計	381,310	403,984
固定資産		
有形固定資産	55,215	64,448
無形固定資産		
のれん	3,956	4,270
その他	6,764	6,620
無形固定資産合計	10,720	10,891
投資その他の資産		
その他	36,079	40,839
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	36,076	40,836
固定資産合計	102,012	116,175
資産合計	483,322	520,160
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	48,046	53,448
電子記録債務	28,084	31,178
短期借入金	22,449	13,403
未払法人税等	7,252	5,496
契約負債	40,682	50,896
工事損失引当金	711	1,071
その他	26,419	26,601
流動負債合計	173,645	182,096
固定負債		
長期借入金	3,907	3,800
退職給付に係る負債	7,494	7,554
その他の引当金	327	406
その他	5,888	8,081
固定負債合計	17,617	19,841
負債合計	191,263	201,938

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,865	31,865
資本剰余金	20,691	20,397
利益剰余金	227,609	237,686
自己株式	△901	△907
株主資本合計	279,264	289,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,107	3,520
繰延ヘッジ損益	△637	△597
為替換算調整勘定	8,380	26,373
退職給付に係る調整累計額	△344	△412
その他の包括利益累計額合計	11,504	28,883
非支配株主持分	1,289	296
純資産合計	292,059	318,221
負債純資産合計	483,322	520,160

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	243,422	277,782
売上原価	201,880	228,398
売上総利益	41,541	49,384
販売費及び一般管理費		
販売費	7,284	8,647
一般管理費	13,928	16,270
販売費及び一般管理費合計	21,213	24,918
営業利益	20,327	24,466
営業外収益		
受取利息	182	217
受取配当金	207	241
受取賃貸料	113	137
助成金収入	234	158
その他	237	145
営業外収益合計	975	900
営業外費用		
支払利息	202	141
為替差損	528	191
その他	31	150
営業外費用合計	763	483
経常利益	20,540	24,883
特別利益		
投資有価証券売却益	18	212
受取保険金	211	—
その他	28	3
特別利益合計	259	215
特別損失		
固定資産除売却損	185	79
過年度付加価値税等	—	2,078
特別退職金	175	—
その他	11	21
特別損失合計	372	2,179
税金等調整前四半期純利益	20,426	22,919
法人税、住民税及び事業税	5,821	9,691
法人税等調整額	413	△3,785
法人税等合計	6,234	5,905
四半期純利益	14,191	17,013
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,919	17,013
非支配株主に帰属する四半期純利益	272	0

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128	△586
繰延ヘッジ損益	162	40
為替換算調整勘定	6,008	17,971
退職給付に係る調整額	18	△67
持分法適用会社に対する持分相当額	22	46
その他の包括利益合計	6,341	17,404
四半期包括利益	20,532	34,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,141	34,392
非支配株主に係る四半期包括利益	391	25

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,426	22,919
減価償却費	3,537	4,025
受取利息及び受取配当金	△389	△458
支払利息	202	141
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	12,251	△21,473
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,008	△15,112
仕入債務の増減額(△は減少)	5,359	1,269
契約負債の増減額(△は減少)	2,271	6,129
その他	△4,353	△4,291
小計	37,297	△6,851
利息及び配当金の受取額	389	451
利息の支払額	△257	△146
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△10,545	△12,128
その他	574	96
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,459	△18,576
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△4,349	△6,132
固定資産の売却による収入	19	80
投資有価証券の売却による収入	31	373
投資有価証券の取得による支出	△15	△18
その他	△15	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,329	△5,718
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1,277
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,097	△673
長期借入金の返済による支出	—	△9,300
自己株式の取得による支出	△7	△5
配当金の支払額	△6,302	△6,936
その他	△742	△861
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,149	△19,054
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,954	8,804
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,933	△34,546
現金及び現金同等物の期首残高	94,079	118,672
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	412	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	108,425	84,126

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

ASC第842号「リース」の適用

米国会計基準を採用する北米子会社において、ASC第842号「リース」を、第1四半期連結会計期間の期首より適用しています。これにより当該北米子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上しています。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、当連結会計年度の期首において、有形固定資産に含まれる使用权資産が1,514百万円、流動負債の「その他」に含まれるリース債務が449百万円、固定負債の「その他」に含まれるリース債務が1,127百万円それぞれ増加しています。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
売上高							
外部顧客への売上高	107,106	7,187	66,258	17,185	197,737	46,292	244,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,277	5,584	251	1,048	25,161	3,738	28,899
計	125,383	12,772	66,509	18,234	222,899	50,031	272,930
セグメント利益	10,653	665	2,500	1,667	15,486	△203	15,283

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	222,899
「その他」の区分の売上高	50,031
セグメント間取引消去	△28,899
その他の連結上の調整額	△608
四半期連結財務諸表の売上高	243,422

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	15,486
「その他」の区分の利益	△203
関係会社からの配当金の消去	△413
その他の連結上の調整額	△950
四半期連結財務諸表の 親会社株主に帰属する四半期純利益	13,919

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
売上高							
外部顧客への売上高	119,523	8,260	73,077	17,083	217,944	59,177	277,122
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,301	5,848	318	1,313	32,781	8,723	41,505
計	144,825	14,108	73,395	18,396	250,726	67,901	318,627
セグメント利益	12,339	367	3,964	1,254	17,925	1,915	19,841

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	250,726
「その他」の区分の売上高	67,901
セグメント間取引消去	△41,505
その他の連結上の調整額	660
四半期連結財務諸表の売上高	277,782

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17,925
「その他」の区分の利益	1,915
関係会社からの配当金の消去	△2,682
その他の連結上の調整額	△145
四半期連結財務諸表の 親会社株主に帰属する四半期純利益	17,013

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1 業種別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
自動車及び自動車部品	8,846	61	7,761	—	16,669	11,071	27,740
エレクトロニクス	30,555	466	10,090	17,185	58,298	13,751	72,049
商業及び小売業	34,732	3,740	27,700	—	66,173	12,012	78,185
運輸・倉庫	10,096	36	2,510	—	12,643	1,267	13,910
機械	3,296	435	129	—	3,861	679	4,541
化学・薬品	4,888	1,809	25	—	6,723	1,059	7,783
食品	8,030	0	815	—	8,846	765	9,611
鉄鋼・非鉄金属	1,373	9	4	—	1,386	73	1,460
精密機器・印刷・事務機	1,840	541	3	—	2,385	677	3,062
空港	423	11	14,558	—	14,992	4,520	19,513
その他	3,022	74	2,659	—	5,757	415	6,172
外部顧客への売上高	107,106	7,187	66,258	17,185	197,737	46,292	244,030
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△608
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	243,422

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 仕向地別の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
日本	76,921	4,561	13	—	81,496	6,136	87,632
海外	30,184	2,625	66,244	17,185	116,240	40,156	156,397
北米	507	1,993	59,917	2	62,420	1,636	64,056
アジア	28,098	518	350	17,183	46,150	30,366	76,517
中国	8,817	289	30	912	10,050	13,937	23,988
韓国	4,478	68	1	16,271	20,819	4,698	25,517
台湾	14,672	92	—	—	14,765	7,561	22,326
その他	129	67	318	—	515	4,168	4,684
欧州	1,527	114	3,966	—	5,607	2,862	8,470
中南米	5	0	1,570	—	1,576	945	2,521
その他	46	0	439	—	486	4,345	4,831
外部顧客への売上高	107,106	7,187	66,258	17,185	197,737	46,292	244,030
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△608
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	243,422

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

3 収益認識の時期別の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
一時点で移転される財	20,294	5,743	6,201	416	32,656	11,216	43,872
一定の期間にわたり移転される財	86,812	1,444	60,056	16,768	165,081	35,076	200,158
外部顧客への売上高	107,106	7,187	66,258	17,185	197,737	46,292	244,030
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△608
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	243,422

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 業種別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
自動車及び自動車部品	9,796	79	9,727	—	19,603	6,655	26,259
エレクトロニクス	40,305	375	10,821	17,083	68,585	27,288	95,874
商業及び小売業	36,090	3,716	31,677	—	71,484	10,578	82,063
運輸・倉庫	8,764	15	3,231	—	12,011	4,062	16,073
機械	4,821	473	308	—	5,602	443	6,045
化学・薬品	6,669	2,487	6	—	9,162	813	9,976
食品	3,600	1	820	—	4,422	2,061	6,483
鉄鋼・非鉄金属	1,647	0	3	—	1,651	277	1,929
精密機器・印刷・事務機	1,446	633	2	—	2,082	695	2,777
空港	1,927	321	12,843	—	15,092	5,394	20,486
その他	4,454	155	3,633	—	8,244	907	9,151
外部顧客への売上高	119,523	8,260	73,077	17,083	217,944	59,177	277,122
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	660
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	277,782

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 仕向地別の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
日本	86,144	4,386	—	—	90,531	6,500	97,031
海外	33,378	3,873	73,077	17,083	127,413	52,677	180,090
北米	928	3,062	65,975	9	69,977	1,624	71,602
アジア	30,274	711	886	17,073	48,945	42,762	91,708
中国	8,622	347	18	656	9,645	18,231	27,876
韓国	6,621	93	—	16,416	23,132	3,400	26,533
台湾	14,228	162	—	—	14,391	13,033	27,424
その他	801	107	867	—	1,776	8,097	9,874
欧州	238	99	4,742	—	5,080	2,890	7,970
中南米	37	0	1,250	—	1,287	655	1,942
その他	1,900	—	222	—	2,122	4,744	6,866
外部顧客への売上高	119,523	8,260	73,077	17,083	217,944	59,177	277,122
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	660
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	277,782

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

3 収益認識の時期別の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
一時点で移転される財	21,235	5,970	5,897	457	33,560	12,562	46,122
一定の期間にわたり移転される財	98,288	2,289	67,180	16,625	184,383	46,615	230,999
外部顧客への売上高	119,523	8,260	73,077	17,083	217,944	59,177	277,122
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	660
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	277,782

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。